



清流

令和8(2026)年5月20日
たつの市立揖保川中学校
発行：校長 森澤宏亘

【校訓】 「叡智を磨き合う」 「友情を育む」 「未来を見つめる」

行事を終えて

4月に行いました修学旅行をはじめとした校外学習や家庭訪問等の行事も終わり、学校での教育活動も本格的に進んでいます。家庭訪問をご希望された保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。伺った内容については、今後のお子様とのかかわりの中で、生かしていきたいと思えます。

新しいクラスでの生活が始まってから、間もなく2か月が経とうとしています。生徒たちは毎日の学校生活に加え、4月に実施した各学年の行事(1年生:レクリエーション(大縄・ドッジビー等)、2年生:大阪校外学習、3年生:修学旅行)を通して、行事の目的を理解しながら活動できたように思えます。また、友達との仲が深まり、新たな輪が広がっています。

生徒の感想の一部を紹介します。

《1年生》

○ドッジビーで、同じチームの人が活躍したら「よっしゃー!」と一緒に喜んだり、ハイタッチしたり協力し合えてすごく楽しかったです。

○クラスのいいところは、(大縄で誰かが引っかかっても)人を責めずに、みんなと協力し合えるところだと思いました。

《2年生》

○公共の場での接し方など、今回で分かりました。

○班の中には、話したことのない人もいたけど、これで仲良くなれてよかったです。

《3年生》

○平和学習で、現地の人の話を聞いたり、ひめゆりの塔を見て、戦争についてより深く学ぶことができました。

○タクシー研修で、たくさん友達と話すことができたし、友達の新しい一面も発見してより仲が深まった。

修学旅行では、生徒たちが「ひめゆりの塔資料館」の資料を熱心に読み、「系数豪」ではガイドさんの話に真剣に耳を傾けて聞いている姿が見られ、戦争について学ぼうとする意欲を強く感じました。特に、系数豪での悲惨な出来事を語られたガイドさんが、最後に「だから、戦争は絶対ダメなんです!」と、強い思いを込めて話された場面は、生徒たちの心にも深く刻まれたことと思います。また、民泊体験では現地の方々の温かさに触れ、人とのつながりの大切さを実感することができました。修学旅行は、命の尊さや人の温かさを改めて考える貴重な機会となりました。

すべての学年において、これらの行事で学んだことを今後の学校生活に生かし、周囲の人との関わりを大切にできる人へと成長してほしいと思えます。そして、生徒会が目標としている「世界一優しい学校」に、さらに近づいていくことを期待しています。

写真

日	曜	行事予定	給食
5/22	金	教育相談	○
23	土		
24	日		
25	月	ノーゲーム・ノースマホデー、教育相談	○
26	火	教育相談	○
27	水	教育相談	○
28	木	中間考査	
29	金	中間考査	○
30	土		
31	日	資源回収	

★…ノー部活動デー（予定変更等の場合はお許しください）
 土日の部活動については、部によって活動日が異なりますので、
 ★を記載していません。（土日はどちらか1日実施）

6/1	月		○
2	火		○
3	水	生徒会各委員会 ★	○
4	木		○
5	金	教育実習生終了	○
6	土		
7	日		
8	月		○
9	火		○
10	水	校内人権研究授業 ★	○
11	木	2年生 歯科検診	○
12	金	1年生 交通安全教室	○
13	土	揖龍夏季大会 陸上競技大会	
14	日		
15	月	避難・通報・消火訓練	○
16	火		○
17	水		○
18	木	1年生 歯科検診 壮行会	○
19	金	揖龍夏季大会	
20	土	揖龍夏季大会	
21	日		
22	月	教育相談	○
23	火	教育相談	○
24	水	教育相談	○
25	木	教育相談	○
26	金	期末考査1日目	
27	土		
28	日		
29	月	期末考査2日目	
30	火	期末考査3日目	